



「きれいな町にしたいね！」

6月4日に行われた、クリーンウォーク2011での1こまで。約590人が参加し、好天の下、8コースに分かれて町内を歩き、ごみを拾い集めました。

(参考記事20ページ)

Public relations magazine

2011.7 No.683

てしかが

主な内容

- 弟子屈の経済は今……………2
- 「少年の主張」弟子屈大会……………8
- 平成22年度弟子屈町財政の状況……………10
- 社会貢献いろいろ……………14
- 花いっぱい運動いろいろ……………15
- 町税などの納期限/夜間納税窓口開設……………27

むかしむか史 (249)

てしかが歴史写真館 123



釧路拓殖演習場俯瞰図



【北海道立拓殖演習場要覧
—昭和26年刊行】

資料提供
古書 北広堂書店

北海道立拓殖演習場要覧

摩周山麓に約687町歩(約677ヘクタール・1951(昭和26)年資料)という広大な敷地を持った釧路拓殖演習場のことは、以前にも紹介しました。北海道立の拓殖演習場は、北海道の気候風土に適した農業開拓を学ぶために、1932(昭和7)年から十勝、北見、釧路、天塩、根室と、順に開設されていきました。

絵は『北海道立拓殖演習場要覧—昭和26年刊行』にある、釧路拓殖演習場の俯瞰図です。摩周湖へ登る途中から見下ろした眺めで、中央に庁舎があり、周りに実習施設やグラウンドがあって、その外側に開拓農地が描かれています。

演習場で学ぶためには「身体強健、志操堅固で北海道開拓に熱意を有し…年齢二十歳以上三十歳未満…。できるだけ農家の二、三男で分家すると云う者が望ましい」という資格が審査されました。実習は普通科1年。希望者の中から選考されて、さらに1年間の研究科で学びました。釧路拓殖演習場を卒業した生徒は、弟子屈の開拓地や根釧原野、道内各地の原野開拓に向かったのです。

しかし、入植を計画された開拓地は、気候が冷涼で土壌も火山灰、重粘土、泥炭地と農業経営には決して好ましい条件ではありませんでした。

てしかが郷土研究会(松橋)

てしかが 2011.7

毎月1回発行 発行/弟子屈町 編集/企画財政課 ☎482-2913 ㊟482-2696
〒088-3292 弟子屈町中央2丁目3番1号 URL <http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/>

R100 この広報紙には再生紙を使っています